



幕末から明治の時代を背景に
政治・産業・科学・芸術の分野で
先進的な活動を展開した佐野常民

博愛社設立許可の図 日本赤十字社蔵

佐野常民は、1822（文政5）年、現在の佐賀市川副町早津江に生まれた。幼少のころから秀才の誉れ高く、藩校弘道館で学問を学び、大阪や江戸に出て緒方洪庵や伊東玄朴らに蘭学や医学の知識を学んだ。佐賀に帰って佐賀藩精煉方の主任となつてからは、さまざまな理化学研究の指揮をとり、佐賀藩海軍創設にも力を注いだ。常民の郷里早津江に佐賀藩が整備した三重津海軍所の責任者となつた常民は、1865（慶応元）年国産初の実用の蒸気船「凌風丸」を完成させた。

1870（明治3）年、明治政府に出仕し政府の要職を歴任、西洋式灯台の建設や内国勸業博覧会の開催など、近代国家建設に向けて時代を先取りした活動を展開した。

1877（明治10）年の西南戦争に際し、常民は敵味方の区別なく負傷者を救護する「博愛社」を設立する。10年後、博愛社は「日本赤十字社」と改称し、常民は初代社長に就任した。1902（明治35）年、旺盛な行動力を持って激動の時代を駆け抜けた常民は80年の生涯を閉じた。



三重津海軍所の図（財）銅島報効会蔵



ご利用案内

■開館時間／午前9時～午後7時

※展示室は午後5時までです。

※多目的室は、水、木、金曜日に限り午後10時まで使用できます。

■休館日／月曜日、年末年始（12/29～1/3）

（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

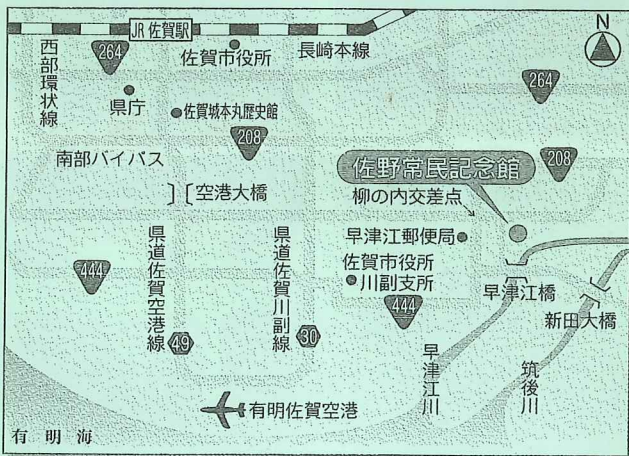
※その他臨時休館日

■入館無料（展示室有料）

展示室の 観覧料	区 分		個 人	団体（20人以上）
	大人（18歳以上）		300円	240円
	小人（小・中・高校生）		100円	80円

■会議室等の使用料（1時間あたりの料金）

会議室1	会議室2	多目的室（大）	多目的室（中）	多目的室（小）
300円	300円	810円	510円	300円



○交通のご案内

- ・JR佐賀駅から佐賀市営バス早津江線にて40分、佐野常民記念館入口下車、徒歩で5分
- ・西鉄柳川駅から西鉄バス沖新線にて30分、終点早津江バス停下車、徒歩5分
- ・長崎自動車道佐賀大和ICから車で40分
- ・有明佐賀空港から車で10分



体験学習施設

佐野常民記念館

TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

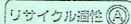
〒840-2202

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津 446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

http://www.saganet.ne.jp/tunetami/

E-mail: tunetami@star.saganet.ne.jp



この印刷物は、印刷屋の紙へリサイクルできます。

TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

佐野常民

記念館

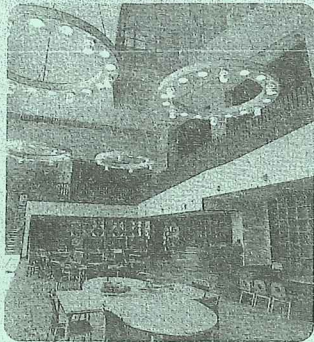
日本赤十字社創設者！



体験

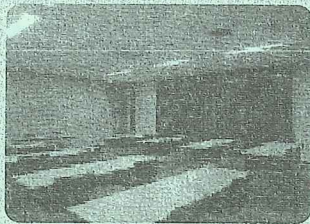
1F

体験活動と人とのふれあいの中で常民の心を学ぼう。



■コミュニティ広場

図書・視聴覚コーナー、赤十字コーナー、河川情報コーナーなどがあり、さまざまな体験活動を通して、人とのふれあいができます。



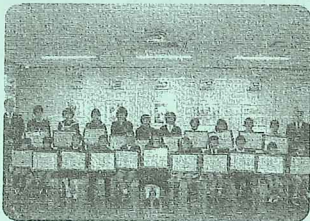
■多目的室

研修・会議室などとしての利用のほか、展示ケースや移動式の間仕切りを利用して作品展や特別展など多目的にご利用できます。



博愛フェスタ

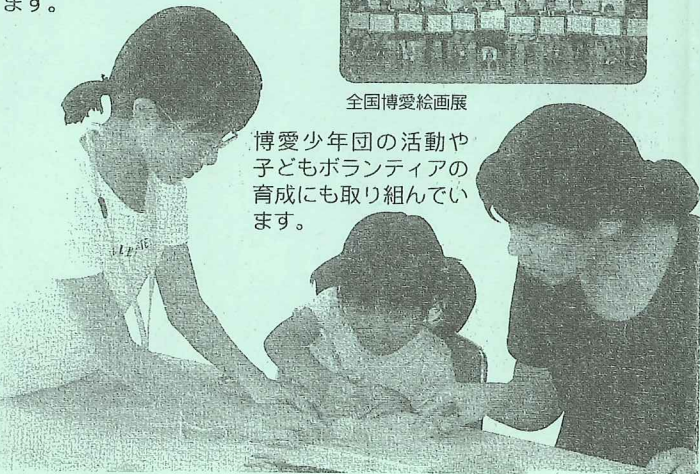
常民の提唱した博愛精神の普及・啓発を目的として12月に開催しています。



全国博愛絵画展

博愛少年団の活動や子どもボランティアの育成にも取り組んでいます。

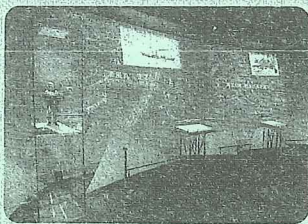
記念館では、年間を通して様々な「モノづくり」教室や、日本赤十字社佐賀県支部の協力を得て、各種の講習会を開催しています。



感動

2F

旺盛な行動力と信念を持って生き抜いた常民の熱い思いを体感しよう。



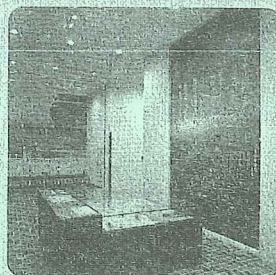
■映像ホール

4つのシーン別映像やマルチビジョンを駆使した全体映像により、常民の生涯を感動的に紹介します。



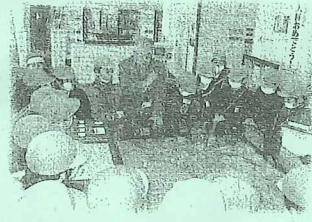
■常設展示室

展示室の入口には、伊藤博文、大隈重信らが常民の人柄を紹介しています。



■三重津海軍所の立体模型

若き常民が郷里で日本の近代化を目指し懸命に励んだ佐賀藩三重津海軍所を絵図や遺跡の発掘調査に基づき製作した立体模型です。また、後方には、周辺の空撮写真に、常民がこの地で国の将来を思って奮闘したことを詠んだ漢詩が書かれています。



▽展示資料



内国勸業博覧會館内列品ノ圖

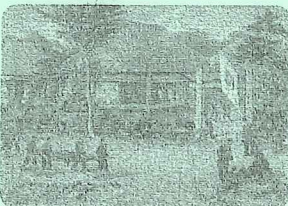
当館蔵

万国博覧會参加の経験を活かし、内国勸業博覧會を開催した常民は、「博覧會男」と呼ばれています。



凌風丸模型

常民は三重津海軍所の責任者となり、日本で最初の国産実用的蒸気船「凌風丸」を完成させました。



博愛社救護所

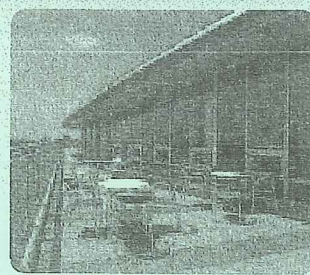
1877(明治10)年西南戦争当時、博愛社が設置した救護所の様子を描いた図。門の前に博愛社の旗印(日の丸の下に「-」の字を入れたもの)が掲げられています。

日本赤十字社蔵

展望

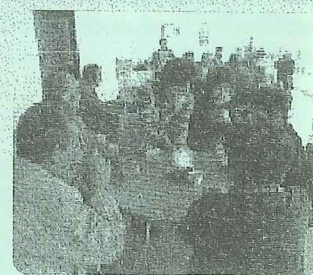
3F

博愛の心にふれ希望に満ちた明日を展望しよう。



■展望室

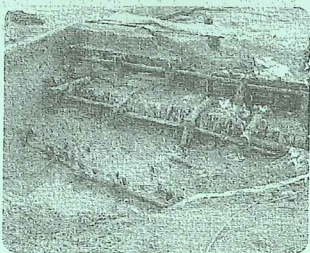
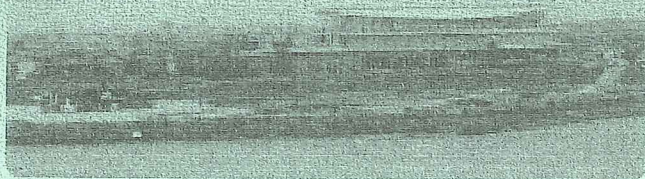
眼下には三重津海軍所跡が見渡せます。発掘情報コーナーでは、同海軍所跡から出土した遺物などを展示しています。



歴史公園

History park

三重津海軍所跡を世界遺産に



「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」とは、「幕末から明治期における飛躍的な日本の近代化」というコンセプトを基に、九州・山口をはじめ各地に所在する複数の産業遺産を一つの産業遺産群と捉え、世界遺産として提案するもので、平成26年1月に世界文化遺産候補として政府によりユネスコへ推薦されました。佐賀市からは「三重津海軍所跡」の世界遺産への登録を目指しています。



三重津海軍所跡を世界遺産に

佐賀市は「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録をめざしています。